

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R1)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市街地のみどり創出に向け、引き続き取り組みを進めていく。	R1年度に改善した点	13. 気候変動に具体的な対策を			
	優先	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	328千円	323千円	芝生化実施園数	芝生化実施面積	まちなかのみどりを創出することを目的としていることから、芝生化した面積を指標とする。				特になし				
	グリーンカーペット促進事業	根拠法令 ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例	R1予算現額 334千円	R1決算額(見込み) 330千円			H30年度目標 160㎡	H30実績 176㎡			R1目標値が未達成の理由・分析				
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費 0.60人	H30その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00人	実績	R元年度目標 170㎡	R1実績 139㎡	当初計画した面積の園庭を芝生化した場合、日々の保育活動に支障が出るのが判明したため、保育園と再度調整を行った上で、園庭の芝生化を実施したため。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み							
	公共施設を率先して緑化し、暑さ抑制を図ると共に、「街中のみどり」を積極的に創出していくため、日常子供たちが過ごしている園庭・校庭の一部を芝生化するものである。	R1正規職員人件費 0.60人	R1その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00人					どのよう貢献したか							
	期間	H30年度～	4,987千円	臨時職員 0.00人	1園	R2年度目標 160㎡		保育園園庭の芝生化により、地球温暖化防止に寄与した。							
	評価者	みどり自然担当参事 奥村 稔													
みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	球根の配布施設数は1減少したが、球根の総数は、前年と同数を配布出来た。	R1年度に改善した点	13. 気候変動に具体的な対策を			
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	2,581千円	2,509千円	ペDESTリアンデッキ花の植え替え 球根配布数	球根配布施設数	地球温暖化対策の一つとして、球根を各施設に配布している。その施設数を指標としている。				球根配布施設に対し、事前にヒアリングを行い配布数を確認したことで、各施設の状態に応じた配布を行うことができた。また、球根の配布施設数は1減少したが、球根の総数は、前年と同数を配布出来た。				
	みどりの街並み創出事業	根拠法令 ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例	R1予算現額 2,622千円	R1決算額(見込み) 2,536千円			H30年度目標 46	H30実績 46			R1目標値が未達成の理由・分析				
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費 0.80人	H30その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00人	実績	R元年度目標 46	R1実績 45	一施設において、植栽場所の確保が出来ず、球根配布・植栽出来なかったため。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み							
	公共施設を率先して緑化し、街中のみどりを創出するため、公共施設に球根を配布し、施設管理者や利用者による施設緑化を進める。また、市民に花と緑に触れ合う機会を提供し、緑化の関心を高めるため、所沢駅前ペDESTリアンデッキ・プランターに四季の花々を植え、維持管理を行う。	R1正規職員人件費 0.75人	R1その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00人					どのよう貢献したか							
	期間	H11年度～	6,234千円	臨時職員 0.00人	3回 3,000個	R2年度目標 46		従来よりも、ヒアリングを前倒しして実施し、必要に応じて、施設と情報交換をすることで、植栽箇所数の減少防止に努めた。							
	評価者	みどり自然担当参事 奥村 稔						球根の配布により、地球温暖化防止に寄与した。							
公園課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値を達成している	R1年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	最優先	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	78,220千円	76,830千円	用地購入	取得済用地面積	事業の進捗を図るためには、用地確保が最重要となることから用地取得面積を目標値としている。取得面積/用地取得面積25.4ha (R3年度目標)				防火水槽、外周道路設置工事を実施した。また、官民連携による維持管理のためのヒアリング調査等を実施した。				
	所沢カルチャーパーク築造事業	根拠法令 都市計画法・都市公園法・都市緑地法	R1予算現額 176,697千円	R1決算額(見込み) 173,041千円			H30年度目標 23.64ha	H30実績 23.64ha			R1目標値が未達成の理由・分析				
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費 1.50人	H30その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00人	実績	R元年度目標 24.23ha	R1実績 24.23ha	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み							
	武蔵野の平地林を活用し、市民が自然観察や散策の場など身近な自然とふれあう環境の保全と整備を行う。	R1正規職員人件費 1.30人	R1その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00人					どのよう貢献したか							
	期間	S61年度～	10,806千円	臨時職員	5,937㎡	R2年度目標 24.44ha		用地取得については、土地所有者に丁寧な説明を引き続き実施する。また、施設整備については、令和3年度完成を目指し計画的に進める。							
	評価者	公園課長 市村 浩昭						武蔵野の平地林の保全を行うとともに、希少動植物の保護に貢献した。							
公園課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値を達成している	R1年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	優先	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	7,071千円	6,803千円	用地取得	取得済用地面積	新たなコミュニティの拠点となる公園整備を行うためには、用地確保が必要となることから用地取得面積を目標とした。				土地所有者から協力を頂けたことから、築造工事に着手した。				
	松戸橋公園築造事業	根拠法令 都市計画法・都市公園法	R1予算現額 296,333千円	R1決算額(見込み) 251,190千円			H30年度目標 1.76ha	H30実績 0ha			R1目標値が未達成の理由・分析				
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費 0.70人	H30その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00人	実績	R元年度目標 1.76ha	R1実績 1.76ha	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み							
	公園不足地の解消を進めるため、地域住民のレクリエーション、コミュニティの拠点となるべく、新たな公園整備を実施する。	R1正規職員人件費 0.85人	R1その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00人					どのよう貢献したか							
	期間	H30～	7,065千円	臨時職員	1,767㎡	R2年度目標 0ha		地域のコミュニティの拠点となるよう、築造工事の早期完成に努める。							
	評価者	公園課長 市村 浩昭						地域のコミュニティ活性化、地域防災拠点の場となるよう築造工事を完了した。							

